

大項目	⑤作業に必要な動作と円滑な遂行
小項目	基本的な作業に取り組む力をつける
タイトル (教材名)	袋詰め作業とその補助具 (職業 I)
目的	請負型軽作業の練習
教材の概要	<p>【教材作成の経緯】</p> <p>生徒の進路先となりうる生活介護や就労継続B型の事業所では箱折や部品の袋詰め・検品等の企業からの請負作業を活動の一部としているところが多い。</p>
材料	
作り方	【作業教材】
工夫点など	「安価で大量で同じ形状かつ安全であるもの」を探した末「綿棒」を使用することにした。袋は開閉が可能なチャック式の袋を採用した。
画像	<p>【補助具】</p> <p>数を数えるのが苦手な生徒がいたため、苦手な部分を補うための補助具を考えた。紙を屏風状に折ることで、綿棒が固定できるように工夫した。</p> 
使用方法 (提示の仕方)	<p>作業の練習として使用</p> <p>「〇分で何袋できるか」等目標を設定させて取り組む 入れる本数を減らす等、個別に作業の難易度を下げることができる たくさんの完成品から1本抜き入れし、検品の作業もできる</p>
その他	<p>綿棒の束をたくさん作ってから袋詰めをする等、生徒独自の工夫が見られた。</p> <p>その他の複数の作業に取り組むことで自身の得意や苦手なことを知る、生徒の「自己理解」にもつなげていきたい。</p>